

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 P3S2000207	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。								
国際出願番号 PCT/JP00/08284	国際出願日 (日.月.年) 24.11.00	優先日 (日.月.年) 30.11.99							
出願人 (氏名又は名称) イビデン株式会社									
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。									
この国際調査報告は、全部で 4 ページである。									
□ この調査報告に引用された先行	□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。								
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 □ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。									
b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。 □ この国際出願に含まれる書面による配列表									
	れたフレキシブルディスクによる配列表	ŧ							
	関に提出された書面による配列表 問に提出されたフレキシブルディスタに	h - XI Dist							
□ 出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表□ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。									
■ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。									
2.	・できない(第 I 欄参照)。								
3. 区 発明の単一性が欠如してい	ゝる(第Ⅱ欄参照)。								
4. 発明の名称は 🗓 出駅	へ 負人が提出したものを承認する。								
□ 次に	示すように国際調査機関が作成した。								
—									
5. 要約は 🗓 出願	人が提出したものを承認する。								
国際		第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ でる。							
6. 要約書とともに公表される図は、 第 <u>3</u> 図とする。 X 出解	i人が示したレおりである								
	人は図を示さなかった。	□ なし .							
	は発明の特徴を一層よく表している。								
		<u>-</u>							

付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 4. □ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。		請求の範囲の一部の調査ができないときの意見(第1ページの2の続き)
2.		
ない国際出願の部分に係るものである。つまり、 3. □ 請求の範囲	1.	
第正概 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の統き) 次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。 請求項1~5,7~14は材料自体及びその用途に関する発明であるが、請求項6,15~19は上記材料の用途を単に特定するだけでなく、装置として特定の構造を持つと限定しているから、単一の一般的発明概念を形成しているとは認められない。また、請求項16,19では炭化珪素が特定のものに特定されておらず、特定の炭化珪素に限定している請求項1~15,17,18とは、単一の一般的発明概念を形成しているとは認められない。 1. 図 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。 2. □ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 3. □ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 4. □ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。 6. □ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。		
次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。		
請求項1~5,7~14は材料自体及びその用途に関する発明であるが、請求項6,15~19は上記材料の用途を単に特定するだけでなく、装置として特定の構造を持つと限定しているから、単一の一般的発明概念を形成しているとは認められない。また、請求項16,19では炭化珪素が特定のものに特定されておらず、特定の炭化珪素に限定している請求項1~15,17,18とは、単一の一般的発明概念を形成しているとは認められない。 1. 図 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。 2. □ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 3. □ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 4. □ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。 追加調査手数料の異義の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の異義の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の異義の申立てに関する注意	第Ⅱ欄	発明の単一性が欠如しているときの意見(第1ページの3の続き)
~19は上記材料の用途を単に特定するだけでなく、装置として特定の構造を持つと限定しているから、単一の一般的発明概念を形成しているとは認められない。また、請求項16,19では炭化珪素が特定のものに特定されておらず、特定の炭化珪素に限定している請求項1~15,17,18とは、単一の一般的発明概念を形成しているとは認められない。 1. 図 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。 2. □ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 3. □ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 4. □ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意	次に述	べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。
の範囲について作成した。 2.	~1 ていま に限	9は上記材料の用途を単に特定するだけでなく、装置として特定の構造を持つと限定しるから、単一の一般的発明概念を形成しているとは認められない。 た、請求項16,19では炭化珪素が特定のものに特定されておらず、特定の炭化珪素 定している請求項1~15,17,18とは、単一の一般的発明概念を形成していると
の範囲について作成した。 2.		
加調査手数料の納付を求めなかった。 3.		
付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 4. □ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。		
されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。 自加調査手数料の異議の申立てに関する注意		
□ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。		
X 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。		追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
	X	追加調金手致料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。



発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. Cl'C04B38/00, 41/88, 35/565, H01L21/304

調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. $Cl'C04B38/00\sim38/10$, $41/80\sim41/91$, $35/565\sim35/577$. H01L21/304, B24B37/04

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1926~1996年

日本国公開実用新案公報 1971~2000年

日本国登録実用新案公報 1994~2000年

日本国実用新案登録公報 1996~2000年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献							
引用文献の		関連する					
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号					
Y	JP, 7-33547, A (出光マテリアル株式会社) 3. 2月.	1~19					
	1995 (03.02.95) クレーム、第1表 (ファミリーな し)						
Y	JP, 11-320394, A (イビデン株式会社) 24. 11	1~19					
	月. 1999 (24. 11. 99) クレーム、0022, 002 7, 0075段落(ファミリーなし)						
Y	JP, 62-12667, A (東芝セラミッグス株式会社) 21.	3-6,11-15,					
	1月. 1987 (21. 01. 87) クレーム (ファミリーなし)	18,19					
Y	JP, 4-238866, A (信越化学工業株式会社) 26.8	3-6,11-15,					
	月. 1992 (26. 08. 92) クレーム (ファミリーなし)	18,19					
l		i					

|X| C欄の続きにも文献が列挙されている。

| パテントファミリーに関する別紙を参照。

- * 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「丁」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの。
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

02.02.01

国際調査報告の発送日

13.02.01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 特許庁審査官 (権限のある職員) 🗸 米田 健志

8924 4 T

電話番号 03-3581-1101 内線 3465

		,	_			
·	国際調査報	g告· 		国際出願番号	PCT/JP0	0/08284
	関連すると認められる	る文献				
引用文献の カテゴリー*:	引用文献名	及び一部の箇所が	は関連オスレキに	ナースの即連ナス	節形のまこ	関連する
Y	JP, 5-319					請求の範囲の番号
•	月. 1993 (6	0.3. 12.	93) クレー	米が八云位)	3. 1.2 リーたし)	3-6、11-15、 18、19
Y	JP, 6-397	704, A (東芝機械株式	会社) 15.	2月.19	6,15-19
-	94 (15. 02	2.94)ク	レーム、00	15段落、図	11, 図4	
37	(ファミリーなし	•				
Y	JP, 11-17 月. 1999 (2	71672, 100	A (電気化学	工業株式会社	29.6	7~19
	段落	2 3 . 0 0	33) 00-	A, 0019	, 0021	
Y	JP, 6-503	3062, A	(ユナイテッ	ドーテクノロ	ジーズ コ	7~19
	ーポレイション)	7.4月.	1994 (0	7.04.9	4) クレー	. 13
}	ム、実施例 &W	VO, 92-	10441,	A &EP,	55520	
	6, A &EP,	560902	2, A & A	U, 6499	66, B	
İ						
			•			
}						
•]						
		·				
ĺ						
	•	•				
						ĺ
					}	·
-						
				·		
					1	
			•			